



新潟市立西特別支援学校

2023年度 学校だより 9月号

「自立と社会参加」

教頭 塚田 康一

夏休み中に、当校と西蒲高等特別支援学校の職員が合同研修を行いました。目的は、それぞれの学校の児童生徒が、より良い進路選択ができるようにするためにはどうすべきかを話し合うことでした。

そこで出たキーワードは「早めの情報収集と高等部卒業後の見通し」「挨拶・コミュニケーション力」でした。

高等部卒業後は、進学、企業就労、福祉サービス利用等様々な進路があります。それぞれの進路に応じて、必要な条件が異なります。お子さんの適性を見極め、お子さんがより良い人生を送るためには今、何ができるか、どうすべきかを高等部入学前から考え、進路情報を集めることが大切です。

話し合いの中で、挨拶とコミュニケーション力は、どの進路でも重要であることが両校の職員で一致しました。社会の中で暮らすためには、必ず人との関わりが必要です。学校では、職員が多様な支援を行っていますが、社会に出た途端、十分な支援を受けることが難しくなります。自分の力で人とつながることができるためには、挨拶ができること、自分の思いを的確に表現できること、支援が欲しいときは具体的に伝えることなどが挙げられます。

西蒲高等特別支援学校の教育目標は「自立と社会参加」です。お子さんが小学部、中学部に在学している今から、この教育目標を覚えておくとよいですね。

10、11月の主な行事予定

10月は校外学習や修学旅行など、出掛ける機会があります。保護者の皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

11月の文化祭の詳細については、後日、文書でお知らせします。



日	曜	主な行事・活動
10/2	月	中-体重測定
3	火	小-体重測定①（はるかぜ、1～3年）
4	水	小-体重測定②（4～6年）・諸校費振替日
6	金	分散型学習参観①（小2、小3）、小6-3 修学旅行（長岡方面） はばたきファイル全校持ち帰り
10	火	分散型参観日②（はるかぜ、小5、中3）
11	水	分散型参観日③（小1）
12	木	分散型参観日④（小4、中1、こすもす）
13	金	分散型参観日⑤（小6、中2） 中1 校外学習（いくとびあ） 第2回学校運営協議会
16	月	教育実習開始（小6）
19	木	はるかぜ・こすもす校外学習（いくとびあ）
20	金	中3修学旅行・小5校外学習（西川ダイソー他）
25	水	小3校外学習（マリンピア日本海）
26	木	中2校外学習（新潟駅）
27	金	教育実習終了
11/18	土	文化祭
20	月	振替休業日

充実した進路指導を目指して

進路指導主事 大森 千尋

新型コロナウイルスが5類感染症移行になったことを受け、今年の夏は全国各地で賑わいを見せるようになりました。私たちの生活がかつての日常に戻りつつあることを実感しています。

当校の中学部3年生が「働く人をたずねよう」と題して、7月に地域の事業所へ見学に行きました。生徒の皆さんは実際に働く人たちの姿をととても真剣に見つめていました。振り返り学習では「静かに仕事をしていた」「大変だと思った」などの感想があり、今後どんな力を身に付ける必要があるかを各自が考えました。自分の将来と向き合う良い機会となったようです。見通しをもてないということは誰でも不安になるものです。少しでも将来に向けてイメージを膨らますことができるようになればと考えています。

進路関係の説明会や体験会はコロナ禍以前に比べ、制限が少なくなってきました。各地の学校でオープンスクールが行われたり、学校説明会の機会が増えたりしてきています。進路指導部として、今後も必要な案内を随時発信して参ります。ご不明なことがありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。

公開講座を終えて

特別支援教育コーディネーター 丸山 優子

夏季休業中に「関係機関の役割と効果的な連携について」の内容で公開講座を実施いたしました。今回は、二部構成で、一部では、YouTube配信により、基幹相談支援センター、西蒲区役所、相談事業所、放課後等デイサービスの4名の方から、業務内容等についてお話していただきました。二部では、先の4名の方に来校していただき、業務についての補足説明や質疑応答、連携の心得等をそれぞれのお立場からご説明いただきました。

この研修では、学校が関係機関と連携していくために、教職員が、福祉や行政の役割について知識を深めることがねらいの一つでした。分かりやすい丁寧なご説明で、役割はもとより、それぞれの立場の児童生徒、ご家族様を支援される熱意が伝わり心強くなりました。

かつての同僚が、「一本の割りばしは、すぐに折れるけど、数本束ねた割りばしは、簡単には折れない」と、「目的に向かって心を合わせること」の大切さを実物を提示しながら子どもたちに話していたのを思い出しました。ご家庭と関係機関、学校が手を携えることで大きな力となります。児童生徒の将来を見据え、今後もご家庭、関係機関と連携を密にしていきたいと思っております。

お聞きになりたいことや相談したいことがありましたら、いつでもお気軽に学校へご連絡ください。